



三内丸山通信

注目！ 今年の

三内丸山遺跡



今年も集落の全体像を明らかにするための発掘調査や研究を行います。また、イベントや情報発信など、各種の企画を予定しています。

発掘調査

今年度も三地点を調査する予定です。第二十三次調査は、昨年調査した第二十次調査区の隣で、環状配石墓（ストーン・サークル）の西側と南側を詳しく調査します。

第二十四次調査は、集落西側の台地上で見つかった列状に配置された墓の調査で、昨年調査した二十一次調査区をさらに広げて詳しく調べる予定です。

第二十五次調査では、一昨年の第十九次調査で木柱を取り上げた掘立柱建物跡の残りの柱穴の調査を行います。木柱が見つかった場合は、取り上げて、年輪等の調査を実施する予定です。発掘調査は五月中旬から十月下旬までの予定で、



その様子は自由に見学することができま

日中共同調査

今年も夏には中国東北部で、日中共同調査が行われます。これは三内丸山遺跡を東アジアの視点から研究

するもので、三内丸山遺跡と同時代の中国東北部内モンゴル自治区にある興隆溝（こうりゅうこう）遺跡で中国社会科学院考古研究所、青森県教育委員会、青森市教育委員会などで組織された調査団が共同研究を進めるものです。昨年に引

き続き今年も発掘調査等に参加する予定です。

特別研究

特別研究推進事業は三内丸山遺跡や縄文文化について研究課題を公募し、研究を委託するものです。今年度は公募研究Aとして「円筒土器文化の変遷と地域性」に関する個人の研究六件と、共同研究を対象とするテーマを限定しない公募研究Bを一件募集しました。これらの研究成果は三月に青森市で開かれる報告会で発表されます。

情報発信

七月下旬から九月下旬にかけて「サマーフェスタ in 三内丸山」を行います。丸木舟体験や、コンサート、キャンプなどの企画を用意しています。

十二月中旬から三月中旬

までは企画展「三内まほろば縄文展」が開かれ、最新の調査・研究成果についての展示を行います。



昨年のサマーフェスタ in 三内丸山

東京シンポジウムは十一月十七日東京で、さらに平成十五年一月十九日には八戸市で「全国縄文シンポジウム」を開催します。他にもフォーラム、発掘調査の現地説明会、特別研究や発掘調査の成果をまとめて報告する遺跡報告会など、さまざまな企画を用意していますので、ぜひ参加してください。また、こども向けのホームページも開設予定です。

三内丸山遺跡のご案内

展示室と遺構の公開時間

9:00~17:00
(7/20~8/31は9:00~18:00)

開園時間

9:00~18:00
(7/20~8/31は9:00~18:30)

ボランティアガイド定時説明

9:00から1時間ごと (7/28~8/19は30分ごと) 最終は16:00~

交通手段

青森市営バス
JR青森駅から
「免許センター行き」
または
「三内丸山遺跡行き」
三内丸山遺跡前で下車

新緑に囲まれた三内丸山遺跡をぜひご覧下さい。



今年度のメニューには新しく「レプリカ作り」が加わりました。遺跡から出土した遺物の活用方法のひとつにレプリカを作ってみて貸し出したり、展示することがあります。今回の体験学習では、実際に遺跡から出土した実物を型どりして、本物そっくりの形を作り、色を塗って仕上げます。レプリカ作りの専門家を招いて作り方を指導していただく予定です。ガラス越しに見ることが多い三内丸山遺跡の出土遺物を自分の手で触って、じっくり観察できるよい機会です。

「三内丸山遺跡探検」では、国立歴史民俗博物館の

新メニューも あります

三内丸山遺跡では、縄文時代の生活に触れることが
できる体験学習をたくさん用意しています。

縄文人になれるかな？親子で、友達と 体験学習をやってみよう！



土偶を上手に作っているなあ。



辻誠一郎先生をお招きして、植物の観察をします。辻先生は三内丸山遺跡で人と自然がどのように影響しあってきたか、を研究され

「装いの考古学」では、自分で作った糸を使って、縄文時代の布である「編布」を作ります。

5回コースの「土器作り」では、遺跡から出土した土器と同じ粘土を使って土器を作ります。今回は①粘土をこねる、②形を作る、③模様をつける、④乾燥させて野焼きをする、⑤使って

ています。三内丸山遺跡の中を歩きながら縄文時代の人々がどのような植物を利用していたのかなど、植物についての楽しいお話を聞くことができます。いつもの見学コースとは少し違うところを歩くので、自分の足で三内丸山遺跡の広さを実感できると思います。

2回コースの「海の考古学」では、鹿の角を削って作った釣り針を使い、実際に魚釣りに挑戦します。どんな針を作ればたくさん釣れるのか、試してください。

みる、の5回に分けてじっくりと体験することができます。

いずれのコースも三内丸山遺跡から出土した実物を目の前にしながら、さまざまな体験ができます。ぜひ、縄文時代の知恵にふれる体験学習にふるって参加してください。



竪穴住居を作ったり、遺跡の植物観察をします。



・10名以上の団体が対象です。
・希望する日の2週間前までにお申し込み下さい。

メニュー	内 容	所要時間	料金(1人分)
縄文ポシェット作り	紙バンドで、縄文ポシェットを作ります。	2時間	300円
編布(アングン)作り	専用の道具を使い、編布(アングン)という方法で花びん敷きを作ります。(大きき10cm程度)	2時間	500円
板状土偶作り	粘土で、土偶を作ります(飾りひも付き)。	2時間	500円
アクセサリー作り	コハクで、ペンダントを作ります。	1時間	1,000円
まが玉作り	滑石(かっせき)で、まが玉を作ります。	1時間	300円
ミニ土偶作り	粘土で、ミニ土偶を作ります。	1時間	300円
組ひも作りと火起こし	組ひもを作ったり、火起こし体験をします。	1時間	200円

お申し込み・お問い合わせ

青森県教育庁文化財保護課
三内丸山遺跡対策室

TEL 017 (734) 9924
FAX 017 (734) 8280

体験学習のお知らせ

<個人メニュー>
☆1回コース

月 日	時 間	メニュー	内 容	申し込み期間	定員	備 考
6/15(土)	午前10時~正午 午後1時~午後3時	発掘体験	三内丸山遺跡の発掘を体験します ※1	6月7日(金)まで	各25人	午前・午後のいずれかを選択
6/29(土)	午前10時~正午	三内丸山遺跡探検	三内丸山遺跡周辺の植物を観察します ※1 (講師:辻誠一郎氏)	6月21日(金)まで	50人	雨天時は雨具持参
7/13(土)	午前10時~午後3時	土偶作り	粘土で土偶を作ります ※2	7月5日(金)まで	50人	作品は8月24日の野焼きで完成
10/26(土)	午前10時~午後3時	石器作り	黒曜石で石器を作ります	10月18日(金)まで	50人	
11/9(土)	午前10時~午後3時	レプリカ作り	遺物の複製品を作ります (講師:堀江武史氏)	11月1日(金)まで	50人	
12/7(土)	午前10時~正午	腕輪作り	ペンケイ貝で腕輪を作ります	11月29日(金)まで	50人	

☆2回コース

月 日	時 間	メニュー	内 容	申し込み期間	定員	備 考
9/14(土) 15(日)	午前10時~午後3時	住まいの考古学 1・2	竪穴住居を作ります ※1 (講師:高島成信氏)	9月6日(金)まで	20人	雨天の場合、ミニ住居作りなど
10/12(土) 13(日)	午前10時~午後3時	海の考古学 1・2	釣り針の製作と魚釣り体験 ※1 (講師:市川金丸氏)	10月4日(金)まで	50人	雨天時は雨具持参
1/11(土) 12(日)	午前10時~午後3時	装いの考古学 1・2	自分で作った糸で、縄文時代の布を作ります (講師:尾関清子氏)	1月4日(金)まで	50人	

☆5回コース

月 日	時 間	メニュー	内 容	申し込み期間	定員	備 考
6/1(土)	午前10時~正午	土器作り1	三内丸山遺跡と同じ土で生地を作ります ※2 (講師:菅田実氏)	5月24日(金)まで	50人	
7/6(土)	午前10時~正午	土器作り2	土器に模様をつけるためのなわを作ります	6月28日(金)まで	50人	
7/27(土)	午前10時~午後3時	土器作り3	粘土で土器を作ります ※2	7月19日(金)まで	50人	
8/24(土)	午前10時~午後3時	土器作り4	7/13に作った土偶、7/27に作った土器を野焼きします ※1	土器作り3か、土偶作りに参加された方のみ		雨天の場合は25日に行います
8/25(日)	午前10時~正午	土器作り5	火を起こし、土器で煮炊きをします ※1	土器作り3と4に参加された方のみ		24日、25日雨天の場合中止

◎ 対 象 小学生以上(ただし、団体での申し込みは受け付けておりません)

◎ お申し込み 電話またはFAX

◎ 集 合 場 所 三内丸山遺跡体験学習館

◎ 参 加 費 無料

◎ も ち も の タオル、筆記用具、軍手、午後までかかる場合は昼食・飲み物(休憩所には食堂があります)。

◎ 服 装 作業しやすい服装でおいでください。※1は屋外でも行いますので、帽子など日除けを準備してください。※2は、汚れてもよい服装でお越しください

★以上の体験学習に参加された方は、青森県民カレッジの単位が認定されます。